

OB会 だより

挑戦シリーズ
No.30



定年後の人生

新しい道に挑戦し、輝いている仲間がたくさんいる

その一人 川口 恵子さん

クラフトバックのプレゼントで、喜んでいただけることがうれしい

退職後に医療生協のクラフトバックを作っているグループに参加したことから、エコクラフトバックづくりに夢中になったのです。教えてもらいながら、色とりどり、様々な形のバックが完成した時は本当にうれしいです。このバックをお世話になった人、好きな人にプレゼントして、喜んでいただける事が楽しみになりました。無趣味で不器用な私がチャレンジして、手芸の楽しさを知り 充実した日々を送れることに感謝しています。

OB 会総会の「私の作品展」には 2 年連続して出展しています。

退職は 2014 年 3 月、看護師として生協ちちぶ訪問看護ステーションが最後の職場でした。

新入会員紹介

よろしくお祈いします



★ 斉藤 幸一さん

1981年9月に埼玉協同病院に入職、20年と6ヶ月間在籍、2002年3月に退職しました。その後、介護の資格を取り川口診療所デイケアで6年間ボランティアをしました。昨年4月に医療生協蕨支部から分割し蕨塚越支部を立ち上げ、他支部にはない事務局と広報紙「けんこうと平和」配布名簿管理担当の二役を担っています。医療生協に入職した時からかかわってきた四課題は、35年ずっとわたしの課題でした。支部では12月5日に早期達成し、川口診療所地区Dブロックの底上げに力を注いでいます。

★ 佐藤 優子さん

2016年12月31日付で退職しました。大先輩の皆様の末席につながり、とじこもらないようにしていきたいと思ひます。

★ 角田 修さん

熊谷市に夫婦で開業してから15年が過ぎました。なつかしい顔である阿久沢さんを見かけました。山形先生、清水禮二先生等お逢いしワクワクしています。よろしくお祈いします。(総会での一言から)

★ 角田令子さん

1985年に卒業し入職した時の病院長が高橋昭雄先生でした。部長の山形先生、一つ上に清水先生、同期は松本先生、吉野先生でした。稲村先生と2Nで一緒でした。協同病院時代に流行った歌はほとんど知らないほど忙しかった思ひがあります。熊谷生協病院に移りその後開業しました。今日参加し正式な会でビックリしています。活動報告を聞き民医連魂が伝わってきました。(総会での一言から)

★ 渋谷菊男さん

1月23日に二人目の孫が生まれ、じいじは遊び相手にされています。老健「さんとめ」には週3日勤務。東久留米でみんなといっしょに歌う会を年2回行っていきます。今年で32回になりました。お年寄りが多いのですが楽しみにしてくれています。よろしくお祈い致します。

OB会だより129号(2017年1月号)新入会員紹介欄に誤りがありましたので下記の通り訂正いたします。不手際をお詫びいたします。

P. 2 (誤) 滝沢仁美(旧紺野) → (正) 滝沢一美(旧紺野)

埼玉民医連退職者の会
第27回総会

61歳から100歳までの仲間
63名の笑顔がそろいました

2017年2月19日

90歳の高橋昭雄先生、88歳の田代健太郎さんの二人は秩父の自宅から電車を乗り継ぎ3時間かけて、山形文子先生は茨城から車で、肥田舜太郎先生は鈴木智子さんの送迎車で・・・

2月19日 埼玉民医連退職者の会第27回総会は、医療生協さいたま：ふれあい会館に過去最高の63名が参加して開かれました。

埼玉民医連設立当時の仲間から、最近まで勤務していた人、60年余の歴史を作った仲間が揃いました。OB会ならではの企画であり、うれしいことです。

初参加は角田修・令子先生夫妻、川島芳男さん、渋谷菊男さん、大久保直子さん、宮崎裕子さん、橋本邦弘さんの7名です。

小野敏さんの開会挨拶、議長に西村米子さん・伊藤幸夫さん、書記に前田文代さんを選出しました。



はじめに この間亡くなられた大久保忠一さん・青柳みどり

さんに黙祷を捧げました。富田会長は挨拶で「国民を無視して進められる政治の流れを変えよう、多くの仲間をOB会に迎え、手をつなぎあい有意義に過ごしましょう」と呼びかけました。民医連退職者の会全国連絡会、埼玉民医連山田昌樹会長のメッセージ紹介の後、第一号議案：2016

年度活動のまとめ、17年度方針を松倉事務局長、第2号議案：16年度決算報告、17年度予算を小嶋幹事、会計監査報告を仲村敬子会計監査、第3号議案：17年度役員を富田会長が提案

し討議に入りました。

初参加の皆さん



橋本邦弘さん

大久保直子さん



角田修先生

宮崎裕子さん



角田令子先生



川島芳男さん



渋谷菊男さん

討論では、今回初参加・久しぶりの参加の皆さんからご意見をうかがいました。

初参加の角田修先生、角田令子先生、渋谷菊雄さんの発言は、新入会員紹介の欄にありますので、ここでは省略させていただきます。大久保直子さんは、昨年父の葬儀に多くの皆さんに参加いただきありがとうございました。そばにいた人がいなくなり寂しいですが、みなさんや地域のつながりの方など、多くの皆さんの支えで元気になることができました。若杉博さんからは、なつかしい顔に逢えてうれしいです。身辺整理をしながら会にもかかわりたいと思っています。二度目の沖縄の旅、早いもので7年も経っているのですね。地域・暮らしも含めて医療生協のかかわりが求められていると思います。

すべての議案が拍手により採択された後、富田会長から17年度の役員一人ひとりの紹介があり、小田幹事の閉会あいさつで1部を終了しました。

休憩中には、63人全員そろっての記念写真、23人が出展した

「私の作品展」の観賞がおこなわれました。

2部は小川祥江さん、海老塚利明さんの司会で、「肥田舜太郎先生 百歳おめでとう」の集いです。お祝いの場にふさわしく水野良信さん（元浦診看護師水野岩子さんのご主人）による雅楽：龍笛「傾盃楽」、篠笛による

長唄「松竹梅」の2曲の演奏がありました。

きれいな笛の音が会場に響き渡りました。

また、会場内九つのテーブルには、それぞれ季節の

可憐な花が飾られ、一段と華やぎました。このお花の用意は水野岩子さん、お手製の花飾りです。（写真左）



水野良信さん





会場の雰囲気も盛り上がったころ、高橋昭雄先生の音頭で乾杯、高橋先生は10歳先輩の肥田先生に敬意を表しつつ、「今まで命がけで続けてきた活動が花開いてきたように思います。肥田先生は埼玉民医連の宝です。医療を守り、命を守る。核兵器廃絶アピールを拡げていきましょう」と挨拶。

OB会から100歳のお祝いに肥田先生お気に入りの色“ワインレッド”のマフラーが送られ、鈴木智子さんにつけてもらった肥田先生はニコリ。

大井協同診療所の皆さんを代表して鹿野睦子事務長から花束、さいわい診療所看護長の川島哲子さんから花籠が送られました。

寺島萬里子先生はお祝いの言葉で、「昨年肥田先生をお招きして我が家で食事会をしました。現職の時にはできないようなお話もゆっくりでき、とても良い時間でした」と話されました



山形文子先生は、肥田先生は埼玉協同病院の院長でしたが、何時もいなかったことを覚えています。今日、角田先生がお見えになってうれしいです。

私の住む茨城は魅力度ランキング47位ですが、稀勢の里の横綱昇進で盛り上がっています。地震警報は「高速道路を逃げなさい」という指示ですが上に行くとは福島ですよ。不安です。

今年も医師会の副会長をやっています。

最後に、肥田舜太郎先生から「百歳をお祝いしていただきありがとうございます。しかし百歳は通過点です。少なくとも5年、10年と思っています。今後とも励ましてください」と元気なご挨拶に大きな拍手がいつまでも響きわたりました。

2部後半のはじめはビデオ鑑賞から始まりました。

武内優さんによる「秩父路の平将門、畠山重忠伝説」、金子仁志さんの「2016年度のOB会活動」、それぞれが綺麗な映像画面に見入りました。

その後、みなさんからひとことのご挨拶が続きました。



皆さんからのひとこと



*菅野いく子さん：ケアステーション「うらしん」で働いています。訪問看護中に骨折をして3か月間自宅療養しました。今は復帰、頑張っています。

***広瀬久子さん**：久しぶりの参加です。いろいろな方と話げできました。民医連の仲間は暖かいと再認識しました。先生方の頑張りに憧れています。何時までもお元気でがんばってください。私も後からついていきます。



***宮崎裕子さん**：所沢診療所で10年勤務しました。今は訪問看護STで働いています。(宮崎さんの写真は総会初参加の欄で紹介)

***清水禮二先生**：会長の富田さんはクリニックの患者さんです。皆さんと逢うといろいろな思い出が湧いてきます。クリニックは楽しいけれど忙しく大変です。健康で長生きをめざしたいです。



***阿久沢正明さん**：埼玉民医連の最後の職場は本部総務でした。総会の楽しみは昔の仲間と逢える事です。

群馬・東京に比べると埼玉は医師の人材が豊富だったと今日は熊谷で鍛えてくれた専務の田代さんに逢えてうれし



思います。かったです。

***松本幸子さん**：健康と生活をどで忙しいです。行田し、加須市議員を3期展に出そうと思ひ、新婦みなさん見てください。



守る会、医療生協の支部長、週4日はヘルパーな協立病院で保育、事務、組織と良い時期を過ごやりました。現在孫が4人います。今日は作品人で作った花飾りを持ってきました。

***石丸乾二さん**：この間に兄・相続をして寄贈しました。



1979年に肥田先生の媒酌で結婚式をあげました。姉が亡くなり、私は何時まで生きられるのかと・・・何か目印があると良いと思ひ、埼玉民医連退職者の会の旗を

***神作信男さん**：一つはこの場に参加する二つ目は子供が2年前に悪したばかりです。三つ目は8月から走れなくなり、今は何とか5km走れるようになりました。健康管理を充分して、世の中を良くするよう頑張ります。



私が話したいことは3点あります。ことを毎年楽しみにしています。性腫瘍になり入退院を繰り返し、昨日帰宅月100kmを目標に走っていましたが、

***富田厚子さん**：昨日埼玉協同病院の「市民公開講座」に行きました。外科の栗原先生、金子先生の話をもくの人達が聞きに来てとてもうれしく思いました。運営にも多くの職員が関わり感激しました。



* 権田圭助さん：

若い頃右肺をとった
ましたが、医者
の生きがい（世直し）
人間は健康第一ですよ。



4月で米寿を迎えます。

ので、残念だけど長く生きられませんよと言われ
言うことは信用しない。私の目標は食事・運動・
です。今後も続けていきます。

* 田代健太郎さん：肥田先生おめでとうございます。

3年前に体調を崩した時、憲法25条ですべての国民は健康で
文化的な生活・・・とありますが、健康ってなんだろうと考えました。
スタンディングなら座っていてもよいだろうかと思い参加することで
腰痛が治りました。今日高橋先生と一緒に秩父から電車でしたが、
心配した腰痛は出ていません。秩父でもヒバクシャ国際署名に取り組みます。



お話したい方がたくさんいらっしゃいましたが、予定した時間も過ぎてしまいました。
「来年また元気にお会いしましょう」との約束をしながら総会は終わりました。



～会員の皆様の近況メッセージ～ 総会議案書 25 ページに追加してください。

♥ 工藤みどりさん

93 歳の母を自宅で介護しています。デイサービスやショートを利用してきている時組合員
活動・地域のサロン・ダンス・習字と楽しんでいます。最近では一泊の旅行にも出られるよう
になりこの会の行事に参加できるようにと願っています。

♥ 竹村むつ子さん；いつもお世話様です。狭山の地で何とか生きています。

インフルエンザAにかかっちゃいました。



総会参加の感想



渋谷 菊男

OB会に入らせて頂き、総会に初めて参加しました。皆さんの「元気なこと、元気なこと」さすが元民医連職員だなーと思いました。週3日通っている老健さんとめでは一番年上ですが、ここでは一番の若造でした。いろいろな所での、みなさんの活躍が聞けて「まだまだがんばれるぞー」と勇気をもらいました。

とても懐かしく、元気が出ました。
ありがとうございました。

吉澤 法子

百歳を迎えられた肥田先生のお元気な姿に希望を与えられ、63名の参加者が集いにぎやかでよかったですね。私は角田先生をお見かけし、なつかしかったです。新生児のビリルビン検査の演題をもち四国に出張した時、「国内で発表されたこのテーマの全原稿です。すべて読んで参加してください」とコピーしていただいた枚数の多さに読んで理解できるのかしらと不安を抱きましたが、読み切り、発表当日は援助をいただき無事終わりました。なつかしい思い出です。

宮崎 裕子

私が入会してもいいのだろうか?と思いつつ、松倉さんと鈴木智子さんに誘われ、思い切って入会しました。初めて総会に参加し、なつかしい方々にお会いして働いていた頃の思い出が走馬灯のように次々と浮かんできました。当時は無我夢中、一生懸命に働いていたのですが、今思い出すと笑える思い出が次々で楽しい仕事をしていたんだと振りかえています。肥田舜太郎先生の百歳を祝う集いに参加でき、元気もいただきよかったです。ありがとうございました。



みんなの作品展から

人数の多さにあわてました！

金子 仁志

総会時の記念写真を第21回より担当しています。いつも50人前後でしたが、なんと今回は63名の参加、つまり1列分増えたのであわてました。そのことに気がついたのが総会開始後で、現役(?)の荒垣さんに相談し、ステージ用の台を会議室の倉庫から出してもらって、なんとか解決できました。今回の参加者数の多さには本当に驚きました。日帰りの”ぶらり”や、1泊旅行、あるいは県民集会などでも参加者の写真を撮り、「OB会だより」やホームページに載せていますが、総会が唯一の参加の場という方も多いので、全員での写真だけでなく、少人数での記念写真なども撮れればと考えています。また、ホームページを開いたことがほとんどないという方のためにも、「映像でのお楽しみ」の中で、実際に会場で映し出してお見せできればと準備中です。

来年もたくさん集まるといいですね。



初めての作品 「孫」 小野敏



テーブルの花たち

水野 岩子 作



私も作品？



悲しいお知らせです

肥田舜太郎先生はOB会総会から1か月後の3月20日、入院先の埼玉協同病院でお亡くなりになりました。告別式は3月26日 おこなわれました。

OB会総会の時、あんなにお元気だった肥田先生が亡くられるなんて・・・

いまだ信じられません。

今号のOB会だよりは、“総会特集・肥田先生 100歳おめでとう”を掲載しています。

肥田先生を偲びつつOB会だよりをご覧ください。

今号ではOB会からの弔電、高橋昭雄先生の弔辞を紹介しました。

次号はみんなで先生の思い出を語り合しましょう。



弔電

肥田舜太郎先生

激動の時代のさなか、先生の訃報に接し悲しみでいっぱいです。

ことし2月19日、埼玉民医連退職者の会の総会の席で、100歳を祝うささやかなプレゼントの赤いマフラーを巻いて、にこにこ挨拶をされたのが最後になりました。

先生のある笑顔と核廃絶への思いは、いつまでも私たちの中に生きつづけます。

深い尊敬と感謝をこめてお別れを申し上げます。

ほんとうにありがとうございました。

埼玉民医連退職者の会



弔 辞

肥田舜太郎先生 あなたは去る太平洋戦争時に日本陸軍の軍医として広島市で米軍の原爆の爆撃に際会して、放射能被害などを自身に浴びながらも、必死に被爆者の治療をつづけ、同時に原子爆弾などの核兵器の製造と使用禁止の運動を一貫して国内・国際的に続けられました。



現在国連を中心に核兵器の製造と使用の禁止条約を締結する運動が始まっていますが、その先駆的な民衆の運動として成功をめざしたものでありました。肥田先生の生涯は、まさに「苦闘・激動の生涯」でありました。本当に長い間お疲れ様でした。

その歴史は「禁止条約」の土台であり、この運動は地球上の人類を始めとするあらゆる「生命の救済活動」だったと私は思います。人類の生命活動だけでは人類も生きられません。

それにしても、日本国内の被爆者の救援を日本の日赤病院が緊急に諸外国に訴えようとしたら、米国の日本占領軍は原子爆弾の性能を当時のソ連に判明されることを恐れて、外国への情報漏れ禁止を命じて、代わりにABC Cのような「原爆被害の実態情報」を米国で独占する方針を実施して、原爆被害者の被害を非常に拡大させました。

肥田先生もその実態を国民に訴えることを禁止されて、時々私ども民医連の親しい医師たちにそっと開陳して、ひどく嘆いておられました。私などは「従属国」の悲劇だと歯ぎしりするだけでした。先生は意を決して、一人で国際的に原爆の恐るべき性能とその被害を訴え歩く活動を始めたのだと思います。まさに「勇者の決断」でした。

私などは語学がダメだから、欧米に一人で行く勇氣などとてもありませんけれど、肥田先生はいったん決めたことはやり抜くのでした。立派でした。

私どもが1970年代にスペイン旅行のおり、フランス人の通訳ガイドのミホ・シボさんが「私は日本の有名な原爆被爆医師の肥田ドクターと共に、非核運動の先駆として働いている平和活動家です」と自己紹介されて驚いたものです。こういう人たちの協力を得ながら、先生は非核の運動を徹底させてきた証拠を見た思いでした。

1953年7月、埼玉県民主医療機関連合会を熊谷市で結成した時に、初めて肥田先生と一緒に活動をはじめました。その時より埼玉民医連はいわゆる「三巨星」と言われる重要な幹部によって組織運営が進んでいったのでした。年齢順に言うと「小林盈蔵先生」「大島慶一郎先生」「肥田舜太郎先生」の三人で、当然ながらヒューマニストとして人権擁護を貫くことを信条とするわけですが、医療・保健だけでなく核兵器を断つ信条を加えた実践に広がり、肥田先生の役割は大切なものでした。この三巨星は何れも惜しまれながら、今日は天井

の人となりました。

その実績と信条を受け継ぎながら、民医連運動は力強く発展するでしょう。

肥田先生 どうか安らかに眠りください。

2017年3月26日

埼玉民医連退職者の会顧問 高橋 昭雄

私の近況

♪♪小山 千里・・・

Comcom 今月号(3月)に娘が載っています。
皆さん 見てくださいね。

♪♪東田伸夫です。今、見るべきものだなと思い、ご紹介します。女性ディレクターである齊加尚代さんは11月初旬、「土人」発言をした機動隊員を擁護するデモを目にし、さらに沿道の人々がデモに共感している姿を見て、「虚」と「実」の真偽を確かめる番組を作らなければという思いに駆られました。昨秋から沖縄・高江地区に入り住民の話を聞き、「過激派」とレッテルを貼られた人々に会い、「反対派住民が救急車を止めた」とSNSに発信した人物を訪ね、『沖縄 さまよう木霊(こだま)～基地反対運動の素顔～』を制作しました。ご覧ください。

♪♪浦川 恵子・・・我が家は、何十年も手が入ってなかった雑木林を伐採して、家を建てた。朝な夕なに、太陽が雑木林越しに木陰を作り出す。緑の季節は木漏れ日となり、雪の季節は墨絵のような造形美となる。

1月に冬のパリを訪れた。ミュージアムパスを利用して、ベルサイユ宮殿へ。広大な敷地にあるグラントリアノン、プチトリアノンも見学。農村風景をわざわざ作らせたプチトリアノンからの帰り、ちらつく雪が上がり、青空が見えた昼さがりの木陰の道をゆっくり歩きながら、フランス革命は起こるべくして起こったのだと実感した。



1月ベルサイユの屋下がり 3月木陰 クルスマスの頃

♪♪田代健太郎・・・OB会だより129号表紙「コーラスでウイーン演奏旅行」を見て和田美津保さんの顔が輝いていますね。実は私も年金者組合のうたごえサークルに参加しています。

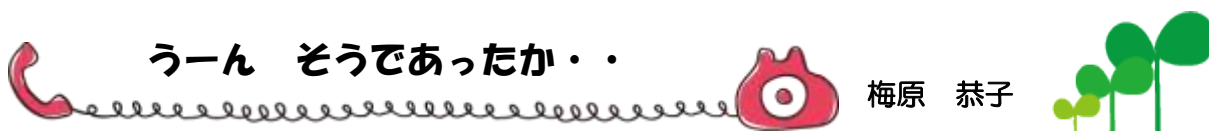
こちらは懐メロ、労働歌等々。音痴を恥じずに大声で唄っています。和田さんとレベルのへだたりが大きいですね。大声で唄うのは健康によいそうで、妻と二人で月2回毎回参加しています。元生協理事のKさんが毎回送迎して下さるおかげでがんばられています。感謝感謝。

♪♪山形文子・・・栗生楽泉園見学の寺島先生は、生き生きしたご様子で、すごいですね
肥田先生、高橋先生、他の大先輩も年齢に関係なくご活躍で、みならいたいです。

♪♪萩原 渺・・・2016年は旅行三昧でした。海外もポルトガル、トルコ、マレーシア、シンガポール、スイス、桂林など6か国。今年も1月にモロッコに行きました。

半分は妻と行きましたが、半分はひとり旅です。(高いです)

「一緒に行こう」というOB会の人は連絡相談しましょう。



以前から少し耳が遠い感じであった夫が、最近さらに聞こえが悪くなったようだと言った。加齢現象の一つかとあまり気にもしなかったが、最近花粉症デビューも果たし、鼻をグズグズさせているので耳鼻科受診をすすめた。夫は幼いころ中耳炎を患ったが、きちんと治療せず鼓膜に穴が開いたままだと私に説明してくれた。

先日、近くの耳鼻科受診を済ませた夫は笑顔で帰宅。「どうだった？」と聞くと「なんとなんと耳の遠い原因は耳垢のせいだったよ」と。「えー？」と絶句。「何年分たまっていたの？」

「まあ話せば長い年月だろうな。たまに掃除に来てください」と言われた由。

「鼓膜はやはり穴あいたままだったの？」「いや、それも薄い膜がけなげにもできていて オー

ジオメーターで調べたら同年代の方より10歳は若い」というところを2回くり返す。く「鼓膜の穴のために聞こえが悪い」という話を結婚以来45年間も信じ切っていた事実

に元医療従事者(夫)の話は信用ならないと確信。「こんなにすっきりしたのは久しくない。頭の中を爽やかな風が吹き渡ったようだよ」とのたまう。病院嫌いの夫は宗旨がえしたのか「お母さんも最近耳遠くなったよだから行って来たら？」といつになくやさしく言う。「どうも」といいつつ「私の場合は聞えないんじゃなく返事しないだけよ」と心の中でつぶやく。

娘にこの話をすると一言「その風は馬耳東風という風じゃあない？」お跡がよろしいようで。



地域で 元気に！



加須市「安心ルーム」

松本 幸子

私達医療生協加須支部では2年前に始めた「脳いきいき教室」をスタートに、「これからもみんなでつながりあっていこう」と発展させたのが「安心ルーム」です。安心ルームに行けば仲間との結びつきが生まれ、ほっと安心できる居場所と言うこともあって、「今度はいつ集まるの？」と、みなさん参加を楽しみにしています。

月1回の集まりは、お茶を飲みながらのおしゃべり、認知症予防にと新聞の切り抜きを朗読したり、季節の行事を楽しんだり、パンフ「憲法の話」を学習したり等々。12～13人が参加して会費は月100円、あっという間に2時間が過ぎてしまいます。参加者の中から医療生協組合員も増え、地域の中で助け合い、つながりの輪が広がっていく場所になっています。

「かかしの里」づくり ～秩父～

深田 澄子

秩父市荒川の贄川宿が「かかしの里」に変わりつつある。かかしはリヤカーを引いたり、釣り糸を垂れたりその数70体。民家の軒先や畑にたたずむ姿が、見る人の心を和ませてくれる。出来栄えもみごと（自画自賛）で、宅配便の業者が誤って声をかけてしまうほど。このかかしづくりは60代を中心とした約20人の女性が参加し、行政からの援助もある。我が家の倉庫にみんなが集まり作業をするが、地域の人たちも不要な衣類を届けてくれるなど、かかしづくりをバックアップしてくれる。秩父はこれから“よい季節” 皆さんぜひお出かけください。



贄川宿の入り口で私がお出迎え



今日は子どもの日



洗濯板で洗うのが一番！



畑仕事 はかどりますか？



平和が
一番！

秩父の山が
きれいだねえ



《終活の参考に》 No.3



次姉の急死 — その後（2）

石丸 乾二

佐賀県伊万里へ除籍謄本を取りに行った頃、お隣のKさん宅に「石丸さんはまた、ご旅行ですか？」と聞かれ、「4月にお亡くなりになりました」とお答えになったとのこと。三井住友信託銀行の外回りの訪問でした。しかし、これがある意味でラッキーでした。

姉は高校新卒で就職したのが、今は三菱信託に吸収され見当たらなくなった『日本信託銀行』の本店営業部信託課が振り出しでした。銀行に行って話を聞くと「相続の手続は当行で100万円＋手数料、それに消費税でやらせて頂けますが・・・」ときて、「実は、あと残る姪の戸籍謄本をとれば済むはずのところですが・・・」東京にいる母方の従姉と連絡を取りもう一人の酒田市役所OBの従姉と連絡を取り、ただこの従姉はご主人の介護で忙しいとのこと、1泊2日で酒田市へ走り、母の出生から父に嫁ぐまでの除籍謄本を取りに行きました。

そこまですると「石丸さんそこまでしていただいたのなら、30万円＋手数料、それに消費税で結構ですので・・・」ときたので、じゃあ司法書士の依頼も資産・負債の集計も信託銀行にお任せしていくことにしました。直系相続人は私1人、代襲相続人は上の姉の子（姪）の3人と確定。銀行に相続の件を委任するという「委任状」の作成にとりかかり、本来だと簡易書留あつかいで郵送する訳だが、レターパック・プラス（これは郵便局は書留・速達として扱う）を利用することになりエクセルのラベル印刷ウィザードの機能で今後のことも考えて1件あたり5枚のラベルをプリントしておき必要に応じて貼り付けて回送しました。

夏が過ぎようとする頃、まさか相続税が発生するとは銀行も想像していなく、経験のない私たちは関係ないと見ていました。



ところが、預貯金に隠れていた定期預金、投資信託の毎月の分配金、その前に発表された相続税に関係する地価の路線価格をあてはめ、平成27年分から相続税改制もあてはめると相続税が発生することになり、三井住友信託銀行が依頼した司法書士も忙しく法務局出張所へ土地建物と遺産分割協議書の登記に走り回ることに。姉の死亡は4月4日だったので、相続税の申告と納税はその10ヶ月後の2月4日が期限！11月12月というのは確定申告やその他の税申告の期限が迫っていて今から税理士をさがすのは至難の業とききました！

一方、相続に必要なことに付随して、この家屋付き土地として売り出すために家屋内外の整理、書籍類、タンス類、家電製品その他諸々……。姪の友人が札幌のマンションを引き払うのに『不要品回収業者』にやってもらったら100万円取られたと、しかし、そんな業者を知っている友人から「そりゃ～すすき野のポッタクリ業者じゃないか～」と。姉が理事をしていたNPO法人は衣類を見て「みんな頂いても良いですか？グループホームの女性利用者の替え着に使えるので」家電製品や食器什器などは姉の所属していた新日本婦人の会のフリーマーケットへ。

(次号に続く)



ホームページの訪問者実数 ご存知ですか？
ご覧くださいね！

埼玉民医連退職者の会

検索

あとがき



満開の桜を窓越しに見ながらの校正になりました。たくさんの方の原稿をいただいたので今号は16ページです。ありがとうございました。私たちは大きな星をひとつ失いましたが、「明るく 元気に 気持ちを豊かに」と自らを励ましつつ、がんばる春の日々です。(K)